

# 謹賀新年

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新たな年を迎えられ、健やかにお過ごしのことと存じます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症が日本中で拡大する中、山県市においても栗まつりをはじめ多くのイベントや行事が中止や規模を縮小しての開催を余儀なくされました。そのような中で、ワクチン接種が開始されましたが、大きな混乱もなく、スムーズに接種が行えたことは、ひとえに市民の皆様との御理解と御協力のおかげと改めて感謝申し上げます。この困難な時代を乗り切るためには、やはり行政の力だけでなく、皆様お一人お一人のお力が必要であることを改めて痛感し、まさにそれに支えられた一年でありました。

そのような中でも、昨年オープンした山県バスターミナルや山県ばすけっと、体験農園みとかなど、新たなにぎわいを創出し、多くの注目を集めた年でもありました。この新たな山県の観光スポットを官民連携でオープンできたことに大きな意味があり、これからの山県市を支えていただけたものになると確信しております。

さて、今年の大きなトピックスの一つに、成人年齢の引き下げがあります。今までは、20歳からが成人とされていましたが、4月からは18歳に引き下げられます。そのような転換

点において、今年4月には山県市誕生から19年を迎え、人間に置き換えると立派な新成人になります。来年には市制20周年と大きな節目を迎えるにあたり、これまでの政策や事業を振り返りつつ、山県市がより一層成熟したまちになるように、引き続き各種政策を力強く進めて参ります。

その核となる政策の一つが山県IC開通を契機としたまちづくりのさらなる推進です。令和6年度には、山県ICから大野神戸IC間が開通予定であり、関西圏からのアクセスが飛躍的に向上します。この開通をただ待つのではなく、来たるべき日に向けて、さらなる企業誘致の推進や観光客・交流人口の獲得を目指します。そして、市民の皆様はもちろんのこと、市外や県外からも多くの注目を集める、魅力ある山県市をつくって参ります。

今年の干支は寅です。市制20周年や山県ICから西回りへの延伸に狙いを定めて、虎視眈々とこの好機を逃さないように、政策を前に進めて参ります。新しい生活様式がスタンダードになりつつある中、引き続き皆様との対話と共感により、魅力あるまちづくりに尽力して参りますので、皆様のより一層の御理解と御協力をお願いするとともに、今年一年が幸多き年となりますよう御祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和4年 元旦

山県市長 林 宏 優

# 子育て世帯への 臨時特別給付金について

## 給付額

児童1人につき  
現金10万円

新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、子育て世帯に対し、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、児童を養育している者に子育て世帯への臨時特別給付金10万円を現金で一括支給します。

### ▼対象者 次のいずれかに該当し、児童手当の所得制限限度額内の人

- ①令和3年9月分の児童手当(本則給付)支給対象児童(令和3年9月1日から令和3年9月30日までの出生児童も含む)を養育する人
- ②令和3年9月30日時点で山県市に住民登録があり、平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれの児童を養育する人
- ③令和3年10月1日から令和4年3

↓高校生などの子どもを持つ保護者

月31日までの間に出生した児童を養育する人で、山県市から児童手当(本則給付)を受給する人  
↓新生児を持つ保護者

※対象児童の保護者のうち、生計を維持する程度の高い者に支給されます。  
※今回の給付金は、児童手当の特例給付を受けている人は対象外となります。

### ▼支給手続き

#### 児童手当受給者(①に該当する人)

申請は不要です。ただし、所属庁から児童手当(本則給付)を受給している公務員は申請が必要です。

#### それ以外の人(②・③に該当する人)

申請が必要です。

詳しくは市HPを確認するか子育て支援課まで問い合わせてください。

### ▼申請・問合せ先

子育て支援課 TEL 22-68339  
ID 26176

## 令和4年度健康診査・がん検診の 申し込みは1月31日までに

健康診査・がん検診は体の異常を早期に発見することができます。生活習慣病やがんは自覚症状が出てからでは手遅れになることがあります。早い段階で生活改善や治療を行うことが非常に大切です。

健康寿命を延ばすためにも、健康(検)診を受けましょう。

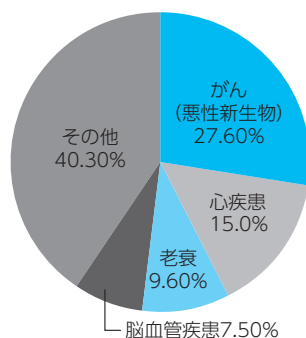
問健康介護課 TEL 22-68338

### ■日本人の死因の50%は生活習慣病が関係しています

日本人の死因の1位はがんです。男性の約3人に2人、女性の約2人に1人が生涯のうちにがんにかかると推測されています。しかし、がんは早期に発見して適切な治療を受けることで、完治することもできます。死因の2位の心疾患、4位の脳血管疾患は血圧、血糖、コレステロールの異常と深い関係があります。いかに早く自覚症状のない段階で異常を発見し、生活習慣の振り返りを行うかがカギとなります。

がん・心疾患・脳血管疾患で、日本人の死因の50・1%を占めています。定期的な健康(検)診と生活改善で、

令和2年 主な死因の構成割合



出典：厚生労働省人口動態統計

治る段階で病気を予防し、いつまでも元気に生活していきましょう。

### ■健康(検)診の流れ

①1月上旬に健康(検)診希望調査書が各世帯に届く。

②受けた健康(検)診に○をつけて、市に返送する。

※受診できる健康(検)診は加入している医療保険や年齢によって異なります。

③5月中旬頃市から受診票が届く。

④受診する日、場所を決める。

※集団健康(検)診の場合、全ての健康(検)診で予約が必要になります。医療機関の場合でも予約が必要な健康(検)診があります。